

JSP の日本語教科書作成に向けて

—— 英語圏の病院における日本語教育のために ——

安 原 順 子

1. はじめに

現在の日本語教育においては、学習者の多様化に伴い学習の目的も多様化し、それぞれが必要とする日本語教育も異なっている。

このような様々な目的で行われる日本語教育は、JSP の日本語（目的別日本語）といわれる。

JSP には、例えば、観光事業で必要とされる日本語、ホテルでの日本語、キャビン・アテンダントの日本語、病院での日本語、生活日本語などがある。これら細分化、専門化された JSP の日本語の分野で市販されている教科書を調べると、生活日本語（サバイバル・ジャパニーズ）やビジネス・ジャパニーズ以外は少ないと言わざるを得ないことがわかる。しかし、これらの分野で、日本語が必要とされる場面が少ないというわけではない。今後は、さらにその必要性は増加するものと考えられる。

例えば、病院での日本語会話は、どの初級の教科書にもある。しかし、それは外国人の日本語学習者が患者になった場合の日本語であり、医者に自分の症状を訴えるときなどに使われる。反対の立場で、病院に日本人患者を受け入れた場合の医師、看護師、病院職員のための日本語とは異なる。求められる視点が異なっているのである。

本稿では、これらの専門分野のうち、病院の日本語を取り上げ、英語圏のある病院での、医師、看護師を含む、職員のために必要な日本語を中心に取り上げ、教科書の作成について考える。

2. JSP の日本語とは

^{注1}
応用言語学事典によれば、JSP の日本語は、目的別日本語（Japanese for Specific Purpose）、または対象別日本語として定義されている。これは、総合日本語教育（Japanese for General Purpose）と対照的に使用されている。JSP は、近年の多様な学習者に対する多様な目的に合う、細分化され、専門分野に特化した日本語教育を指す。

また、通常の日本語学習とは異なり、次のような特徴がある。

第一に、文法の積み上げ方式のような日本語教授法が取られないことがあげられる。

そのため、基礎から、中級、上級へと確実に日本語の能力を高めていくことが難しい。

また、場面による学習のみで、その場面から離れての活動では、どのように日本語を使用すればよいか、分からなくなってしまう。

第二に、基礎日本語の学習に比べると、専門用語が多く、最初からJSPを開始した場合、まず用語の使い方が難しく、困る場合が多い。専門用語をどのように学習できるかも課題となる。

第三に、求められる日本語が、同じ病院関係者でもかなり異なる点があげられる。

そのため、短時間で確実に日本語力を付けようとすれば、かなり個別のそれも内容をその必要性に合わせた教科書が、各機関で求められることになる。つまり市販の教科書だけでは補えない部分が増えるということである。従って、個別に教材の作成をしなければならない場合が多い。

3．現行の主な教科書

病院関係者の視点から日本語を練習できる日本語教育用教科書で、現在市販されている教科書には、次のようなものがある。

大西 守，増茂尚志（1992）『外国人と日本人医師の臨床会話集 1 英語編』三修社

「Ⅰ受け付け」の場面から、「Ⅷ外国人の健康保険と治療費のトラブルに関して」まで、場面を中心にしたすぐ使える日本語の語彙と文を学習できるようになっている。ただし、文型の提示はないので、応用力の養成という点では問題がある。

また、語彙も文も現場での実際の日本語をそのまま使用しているため、初級の日本語学習者にとっては、教科書として使用するのは難しい。

国際協力事業団監修（1990）『技術研修のため日本語 保健医療分野』凡人社

JICA で受け入れる技術研修生の中で、医師、看護師のために、研修中の理解をスムーズにさせるように作られた日本語教科書。『技術研修のための日本語』本冊と併用し、JSP の日本語を学べる。

4．現在の問題点

以下の問題点は、一般的に病院関係者のための日本語講座において、現在あげられる問題点である。

① 場面を中心にした日本語学習が中心で、文法をやさしい内容から難しい内容へと、段階的に教えることができない。

そのため、その場その場での場面にあった日本語力しか身に付かず、応用力を付けら

れない。また、初級の学習を修了しても、中級、さらに上級へと進むのは難しい。

- ② 現場のニーズにあった教材を提供できていない。

日本語学習者が日本で病院に行くという練習は多いが、外国の病院で、日本人を迎えるという場面の教材は多くはないということである。同時に、病院関係者のための日本語教材が少ないこともあるが、内容もやさしすぎたり、難しすぎたりして、病院関係者のニーズに合っていない。

- ③ 口頭練習が中心で、文字の学習や読み書きにまで時間を割くことができない。

ローマ字使用のため、日本語のように同音異義語の多い言語では、長く学習を継続して、中・上級のレベルに進むことが難しい。

- ④ 仕事をしながらの学習では、予習・復習などが十分にできない。また、仕事の都合で、日本語講座も休みがちになることが多い。

そのため、最低限の予習・復習で講座に参加できる、あるいは、休んでも授業についていけるようなカリキュラムを準備する必要がある。

5. ニーズ調査

この教科書は、次のような機関と学習者を対象に作成するものである。より効果的な教材作成に向けて、次のようなニーズ調査と分析を行った。

学習者 英語圏の日系病院における看護師を中心に、医師および職員

学習時間 毎週1～2時間、約5週間

^{注2}『日本語教育機関におけるコース・デザイン』によれば、ニーズ調査の方法は、インタビューによる面接質問方法と、調査書を作成して記入させる質問紙法があるという。つまり、ニーズ調査として、必要な日本語を場面別に調査し、聞き取り調査を行い、必要な文型、語彙の調査を行わなければならない。

そこで、今回の準備段階でのニーズ調査では両者を併用し、病院でのインタビューと必要語彙、文型を書き出した書類を提出してもらうという形をとった。

それにより、病院側の次のようなニーズが分かった。

聞き取り調査による病院側の希望

担当者に直接インタビューし、ボランティア日本語講座について意見を聴取した。

- ① 会話中心の学習

実際の場面よく使うものを集中して学習できることが必要である。

- ② 必要な語彙、文型を中心に学習

English-Japanese Vocabulary List (改訂版) に示したものが、この病院で患者と接す

るときによく使用する語彙と文である。これらを中心に学習を進めたい。

③ ローマ字使用の学習

原則として、文字の学習は、希望者以外は必要としない。従って、ローマ字使用を原則とする。

④ 短時間で、必要なものだけ繰り返し学習

仕事の合間の授業参加となるため、学習者が短時間に効率よく学習できる教科書とそれを使用するカリキュラムが必要である。

提出された書類を調べ、以下のような分析を行った。

English-Japanese Vocabulary List (改訂版) A 4 5枚による資料であるが、一部、古い表現などを訂正して病院側が改訂版を作成、使用中である。

ただし、このリストの使用については、次のような問題がある。

① ローマ字の表記上の問題

ヘボン式を中心に使用しているが、「o」ではなく「wo」となっている。分かりやすさも考慮した表記の統一が必要である。

② 語彙リストのみのため、会話場がない。

③ English-Japanese しかないが、Japanese-English の Vocabulary List も必要となる。

6 . ニーズ分析

English-Japanese Vocabulary List (改訂版) より、語彙と文型を抽出した。さらに、そこから必要な文型と動詞活用形を抽出し、教科書の中心となる構成を考えた。

English-Japanese Vocabulary List の内容

見出し語彙数	約 100
文例数	83 ____てください。 } 主な文型 ____ましょう。 ____ましょうか。
動詞活用形	ます形, る形, て形, ない形

文法・文型	例文（原文はローマ字）
決まり文句	お大事に
あいさつなど	おはようございます。
____ N ____ の ____ N ____	左の腕
____ N ____ です。	あなたの血圧は普通です。
____ V ____ ですか。	今朝の気分はいかがですか。
____ V ____ ます。	体温を測ります。
____ V ____ ますか。	寒気がしますか。
____ V ____ ましたか。	気分はよくなりましたか。
____ V ____ ましょう。	シーツを取り替えましょう。
____ V ____ てください。	お医者さんを呼んでください。

次に、ニーズ調査の結果にあった教科書との比較をする。教科書の選定は、作ろうと考えている教科書の内容に比較的近いものを、以下の基準で取り上げた。

① 学習時間が短い教科書

② 出版年度が新しい教科書

加えて、できるだけ選択した教科書の中に、次のような基準を満たすものを入れた。

③ ひらがな、カタカナ、またはローマ字を併記した教科書

④ 英語を媒介語の一表記のみに使用している教科書

その基準で次の五冊の教科書を選び、分析に使用する。

A 宮崎道子（2003）『Now! You're talking!』スリーエーネットワーク

B 久保田美子他（2006）『入門 日本語 新装版』アルク

C 岡本輝彦他（2002）『語学留学生のための日本語Ⅰ』凡人社

D 谷口すみ子他（2001）『はじめのいっぽ』スリーエーネットワーク

E TIJ 東京日本語研修所（2006）『はじめよう日本語初級1』

スリーエーネットワーク

ここでは、病院側のリストにあった動詞の活用形がどのような提出順序で上記の教科書に出されているかを調査した。ただし、次の表のうち、「た形」は病院側のリストにはないが、提出予定文型との関連で、調査の対象とした。

初級では、文型と動詞の活用形を結びつけた内容で授業を行う。動詞の活用形は、活用形そのものを文末に使用する場合もあるが、多くの場合は、文型と組み合わせて、正しい形で使用する目的がある。そのため、どの活用形がどの文型と組み合わせることができるのかを示すことは、重要である。

初級の文法の中で、教科書の骨組みとなっているのは、文型であり、文型を形作るのは動詞の活用形である。

動詞活用形提出順序の比較

書 名 活 用 形	A	B	C	D	E
ます形	L 4	L 5	L 5	L 7	L 3
る形	L 5	L 11	L 14	L 9	L 10
て形	L 6	L 9	L 11	L 12	L 8
た形	×	×	L 15	×	L 12
ない形	×	L 9	L 13	L 12	L 10

文型提出順序の比較

書 名 文 型	A	B	C	D	E
__ V __ でしょうか。	L 5	L 7	L 11	L 8	L 4
__ V __ たいです。	×	×	L 10	L 9	L 9
__ V __ ることができます。	×	×	×	×	×
__ V __ る前に、__ 。	×	×	×	×	×
__ V __ てください。	L 6	L 9	L 11	×	L 8
__ V __ てみます。	×	×	×	×	×

(7)

__ V __ ています。	×	L 10	L 12	×	L 8
__ V __ たほうがいいです。	×	×	×	L 12	L 12
__ V __ たことがあります。	×	×	L 15	L 14	×
__ V __ た後で、__ 。	×	×	×	×	×
__ V __ ないでください	×	L 9	L 13	L 13	L 12
__ V __ ないほうがいいです。	×	×	×	L 12	L 12

上記のニーズ分析と他の教科書との比較の結果、新しく作成する教科書では、次の文型と動詞の活用形を学習する。

動詞活用形と文型

ます形	__ を __ V __ ます。 __ V __ ましょうか。 __ V __ たいです。
る形	__ V __ ることができます。 __ V __ る前に、__ 。
て形	__ V __ てください。 __ V __ てみます。 __ V __ ています。
注 ³ た形	__ V __ たほうがいいです。 __ V __ たことがあります。 __ V __ た後で、__ 。
ない形	__ V __ ないでください。 __ V __ ないほうがいいです。

7. 新しい教科書作成の基本的な考え方

作成する教科書は、次のような基準で作成する。

① 文法積み上げ方式による JSP 教材

文法の問題

現在の教材の問題点として、文法積み上げ方式ではない点をあげた。

しかし、新しい教材は、文法の学習を継続して行えるようにすべきである。なぜなら、これにより、中・上級にも進むことができるからだ。

ローマ字

ローマ字、漢字かな交じり表記を併用し、教科書を作成する。

一般に、ローマ字表記では、中・上級レベルに進むのは難しい。中・上級レベルでは、さらに、漢語を使用する割合が増加するため、ローマ字表記のみで学習していた場合には、正確な意味の把握は難しいからだ。同音異義語の意味も理解しにくい。

そのため、中・上級レベルに進みたい学習者には、漢字かな交じり表記での学習を最初から勧めるべきであり、両表記を併用すべきである。

② どこからでもいつからでも、繰り返し学習できるプログラムを作成する。

病院の日本語では、病院での仕事の合間に日本語講座に参加することになるので、仕事の都合で参加できないことも考えられる。従って、同じ日に二回同一の授業を行うようなプログラムを工夫する必要がある。

また、休んでも、次の授業に差し支えないようなシラバスを工夫する必要もある。

例えば、教科書を作る際に、基本的には文法積み上げ方式をとっても、次の授業に差し支えないような文法の提出順序が望まれる。

特に、このようなシラバスでは、文型の提出順序以外に、動詞の活用計の提出順序が重要になる。「ます形」から始め、「ます形」を中心に、「て形」や「た形」に進む提出順序が示されなければならない。提出順序としては、「ます形」から「辞書形(る形)」を経て、「て形」や「ない形」に変化することも考えられるが、この場合、途中の活用形を正確に覚えていなければならないため、授業を休んだ場合は理解するのが難しい。

③ すぐに役立つ日本語

学習して、すぐに役立つ日本語とは、ニーズ調査の結果をふまえ、場面を中心にした日本語をいう。

a 日常の病院の場面で決まった言い方を学習する

ニーズ調査の結果を利用し、医師、看護師、事務職員などの必要な場面での日本語を集中して学習する。短い会話でも、十分な学習効果を持たせることができる。

b 教科書の構成の工夫

(9)

単語を軸にその単語の意味を広げて、一つの単語を調べると、さらにその単語を使用した様々な言い回しを同時に学習できるようにする。教科書に、簡単な辞書機能も持たせるようにする。

c 音声教材の作成

音声教材を用意し、自習もできるようにする。学習者の忙しさ、休んだ場合も考えて音声教材を作成し、学習の補助とする。

8．教科書作成に向けて

病院で教えるための教材は、これで完成するわけではない。

今後は、以下の内容を準備する必要がある。

- 1 使用語彙の精査
- 2 文型の提出順序
- 3 動詞活用形の提出順序
- 4 表記の統一
- 5 モデル会話の考案
- 6 表題（各課のテーマ）

現在、市販されている教科書で、日本人著者による教科書は、ほとんどが「_____は_____です。」という名詞文から始まっている。しかし、海外で英語を媒介にし、英語母語話者に教える日本語教育では、教科書は、むしろ動詞述語文からはじめたほうが、より効率の良い学習ができるのではないだろうか。文型提出順序において、日本語教育ではなぜ名詞文から始めるのかについては、^{注4}『日本語運用文法』に詳しく述べてある。外国人の著者による日本語教科書は、日本人の著者によるものとは反対に、多くが動詞文から始まっている。この違いは、反対に日本人向けの外国語の教科書の分析などを行うと、より明確に知ることができる。

9．おわりに

本稿では、作成予定の教科書が、単に日本語教育用の教科書であるだけでなく、文法積み上げ方式をとりながら、短期間で繰り返し学習ができる今後のJSP教材制作の基準にもなる教科書であることを明示できた。そして、多様化する学習者のニーズに合う教科書作りの基本的な考え方を示すことができた。

今後は、こういった病院以外にも、より広い専門領域で外国人の立場から日本人に接するための日本語が必要となろう。これは、日本語学習者の学ぶ日本語が多様化しているからである。

教科書は、それを実際に授業で繰り返し使用することにより、さらにより良いものへと

改訂していくことができる。教科書を完成させ、病院での使用を通してこの教科書をより良いものへと改訂していくことが、今後の課題である。

注

- 1 小池生夫編（2003）pp.835-836
- 2 日本語教育学会編（1991）p24
- 3 「た形」については、病院側のリストにはないため、教科書に使用する動詞活用形に入れなければならないということはない。しかし、「た形」を使用した文型は、病院での会話に多く見られる文型である。教科書の構成上、どうしても「た形」を使用できなければ、「_____V_____たほうがいいです。」は、「_____V_____てください。」に、「_____V_____たことがあります。」は、「_____V_____ました。」に代えて使用することもできる。
- 4 阪田雪子編著（2003）pp.46-47

参考文献

- 大西 守，増茂尚志（1992）『外国人と日本人医師の臨床会話集 1 英語編』三修社
 岡本輝彦他（2002）『語学留学生のための日本語Ⅰ』凡人社
 久保田美子他（2006）『入門日本語 新装版』アルク
 小池生夫編（2003）『応用言語学事典』研究社
 国際協力事業団監修（1990）『技術研修のため日本語 保健医療分野』凡人社
 国際交流基金（2001）『教科書を作ろう セつめい編』
 国際交流基金（1999）『教科書を作ろう れんしゅう編』
 阪田雪子編著（2003）『日本語運用文法』凡人社
 谷口すみ子他（2001）『はじめのいっぽ』スリーエーネットワーク
 日本語教育学会編（1991）『日本語教育機関におけるコース・デザイン』凡人社
 星野恵子（2006）『日本語教育能力検定試験に合格するための記述問題50』アルク
 宮崎道子（2003）『Now! You're talking!』スリーエーネットワーク
 TIJ 東京日本語研修所（2006）『はじめよう日本語初級 1』スリーエーネットワーク